

市議会だより

かしば

No.136

人・街・暮らし

■発行：香芝市議会 ■編集：香芝市議会だより編集委員会
■連絡先：〒639-0292 香芝市本町1397 香芝市議会事務局 ☎76-2001(代)



▲夏休み和紙玉教室のようす

おもな内容

- 平成24年5月臨時会の結果 …… 2 P
- 一般質問 …… 6～14 P
- 役員の改選・市議会の委員会構成等 …… 3 P
- 傍聴者アンケート集計表 …… 15 P
- 平成24年6月定例会の概要と結果 …… 4・5 P
- 議会日誌 …… 16 P

平成24年5月第2回(臨時会) 香芝市議会結果

会期 平成24年5月24日の1日間



《理事者提出議案》

議案番号	議案	審議の結果(議長を除く)
承第1号	香芝市自転車駐車場条例の一部を改正する条例の専決処分の報告及び承認について	原案承認 (出席16名・全会一致)
承第2号	香芝市税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告及び承認について	原案承認 (出席16名・全会一致)
同第2号 (追加議案)	香芝市監査委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意 (出席16名・全会一致)

《議員提出議案》

議案番号	議案	審議の結果(議長を除く)
許第1号 (追加議案)	香芝市議会副議長の辞職許可について	許可 (出席16名・全会一致)
選第1号	香芝市議会議長の選挙について	選挙
選第2号	香芝市議会常任委員会の委員の選任について	選任
選第3号	香芝市議会議会運営委員会の委員の選任について	選任
選第4号 (追加議案)	香芝市議会副議長の選挙について	選挙
選第5号 (追加議案)	葛城広域行政事務組合議会議員の選挙について	指名推選
選第6号 (追加議案)	奈良県葛城地区清掃事務組合議会議員の選出について	指名推選
選第7号 (追加議案)	香芝・王寺環境施設組合議会議員の選出について	指名推選
選第8号 (追加議案)	香芝・広陵消防組合議会議員の選出について	指名推選

議会の役員を改選



議長 長谷川 翠

副議長 橋本 元秀

市民の皆様には、日頃より市政発展のため格段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、5月24日に開会されました臨時会において、議員の皆様方から選出いただき、正副議長の要職に就くこととなりました。このことは、誠に身に余る光栄であり、改めてその重責に身の引き締まる思いでございます。

市政を取りまく環境は年々厳しいものとなっておりますが、議員一人ひとりが政策形成能力の向上に努め、議会の活性化を図らなければなりません。そのためにも、議会の果たすべき役割を肝に銘じ、議員が一丸となり、市民の皆さんが希望のもてるまちづくりのため、誠心誠意、全力を傾注してまいります。

今後とも、なお一層のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

正副議長就任あいさつ

市議会の委員会構成

平成24年5月24日改選

議長 長谷川 翠		副議長 橋本 元秀		監査委員 森井 常夫	
常任委員会	総務財政委員会	委員長	奥山 隆俊	副委員長	池原 道生
		委員	長谷川 翠	河杉 博之	橋本 元秀 池田 英子
	民生文教委員会	委員長	下田 昭	副委員長	堀川 和行
		委員	芦高 省五	小西 高吉	関 義秀 中山 武彦
	建設水道委員会	委員長	中村 良路	副委員長	黒松 康至
		委員	北川 重信	細井 宏純	森井 常夫
議会運営委員会 (議会だより編集委員会)	委員長	関 義秀	副委員長	河杉 博之	
	委員	北川 重信	森井 常夫	堀川 和行	池田 英子 池原 道生

組合議会議員

葛城広域行政事務組合議会議員	長谷川 翠	奥山 隆俊		
奈良県葛城地区清掃事務組合議会議員	長谷川 翠	橋本 元秀	下田 昭	堀川 和行
香芝・王寺環境施設組合議会議員	長谷川 翠	北川 重信	細井 宏純	関 義秀
香芝・広陵消防組合議会議員	長谷川 翠	河杉 博之	小西 高吉	下田 昭

平成24年6月第3回定例会

平成24年第3回定例香芝市議会は、6月25日から7月9日までの15日間の会期で行われました。

本定例会では、理事者から提出された報告事項8件、承認1件、条例の一部改正3件、規約の一部変更2件、契約の締結1件、同意3件、意見書1件について慎重に審議しました。



審議結果

《理事者提出議案》

議案番号	議案	審議の結果(議長を除く)	
報第2号	平成23年度香芝市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報告受理	
報第3号	平成23年度香芝市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報告受理	
報第4号	平成23年度香芝市介護保険特別会計事故繰越し繰越計算書の報告について	報告受理	
報第5号	平成23年度香芝市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	報告受理	
報第6号	権利の放棄の専決処分の報告について	報告受理	
報第7号	損害賠償の額の決定の専決処分の報告について	報告受理	
報第8号	損害賠償の額の決定の専決処分の報告について	報告受理	
報第9号	損害賠償の額の決定の専決処分の報告について	報告受理	
承第3号	平成24年度香芝市介護保険特別会計補正予算(第1号)の専決処分の報告及び承認について	原案承認 (出席16名・全会一致)	
議第25号	香芝市の特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正することについて	原案可決	出席15名 賛成15名
議第26号	香芝市税条例の一部を改正することについて	原案可決 (出席16名・全会一致)	
議第27号	香芝市手数料条例等の一部を改正することについて	原案可決 (出席16名・全会一致)	
議第28号	奈良県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更することについて	原案可決 (出席16名・全会一致)	
議第29号	香芝・王寺環境施設組合理約の一部を変更することについて	原案可決 (出席16名・全会一致)	
議第30号	公共下水道工事(12-補1-3)請負契約の締結について	原案可決 (出席16名・全会一致)	

《理事者提出議案》

議案番号	議案	審議の結果(議長を除く)
同 第 3 号	香芝市副市長の選任につき同意を求めることについて	原案同意 (出席 16 名・全会一致)
同 第 4 号	香芝市公平委員会の委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意 (出席 16 名・全会一致)
同 第 5 号 (追加議案)	香芝市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	原案同意 (出席 16 名・全会一致)

《議員提出議案》

議案番号	議案	提出者	審議の結果(議長を除く)
意見書 第 2 号	「防災・減災ニューディール」による社会基盤再構築を求める意見書	中山 武彦	原案可決 (出席 16 名・全会一致)

委員会付託議案

総務財政委員会	議第 25 号、議第 26 号	建設水道委員会	議第 30 号、意見書第 2 号
---------	-----------------	---------	------------------

主な議案内容と委員会審査の概要(抜粋)

議第 25 号 香芝市の特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正することについて

【議案内容】

本市の厳しい財政状況を踏まえ市長、副市長の給料月額及び退職手当の算定基礎額の減額を行うため、「香芝市の特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例」の一部を改正するものである。

今回の改正案については、本市の財政状況を鑑み、財政改革に対して不退転の決意で取り組む市長の姿勢を示すものである。

【審査の概要】

(質疑) 市長、副市長の給与の減額を提案されているが、教育長や一般職の給与については、どのように考えているのか。

(答弁) 一般職については、人事院勧告で一定の減額もされており、職員の給与の減額は考えていない。また、教育長についても、一般職であることから、提案しなかった。

(質疑) 報酬等の額については、香芝市特別職報酬審議会の意見を聞くものとすると規定しているが、なぜ、この規定を履行しなかったのか。

(答弁) 事務方から、スピード感をもって実行した例があるとの進言を受け判断した。本案については、他市町村や民間との格差をベースにしたものではなく、あくまでも経営トップの責任という判断のもとで提案した。決して条例を軽視したものではない。

【全会一致で可決】

議第 30 号 公共下水道工事(12-補 1-3)請負契約の締結について

【議案内容】

公共下水道工事(12-補 1-3)を契約金額 1 億 9,929 万円で落札した(株)奥村組奈良営業所と工事請負契約を締結するため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第 2 条の規定により議会の議決を求めるものである。工事の場所は瓦口、五位堂 3・4 丁目地内であり、近鉄五位堂駅南側地区の費用対効果の高い、人口密集地区の管渠整備である。

【審査の概要】

(質疑) 総合評価落札方式とは、どのような入札内容なのか。

(答弁) 総合評価落札方式は、事前周知の具体的な工夫や周辺住宅を考慮して、生活環境へ与える騒音などを軽減するために技術の提案を求めた。これにより、今回の入札では施工意欲のある業者が参加したと考えている。

(質疑) 入札の最低制限価格は、どのような場合に設けるのか。

(答弁) 入札の過度な安値や工事品質の悪化、下請業者へのしわ寄せ等、建設業の健全な発展の阻害を防止する観点から、案件によっては、最低制限価格を設ける必要があると考えている。現在は、建築における新增改築工事や耐震補強工事、また、総合評価落札方式による入札には、最低制限価格を設けている。

【全会一致で可決】

7月定例会の一般質問は7月4日・5日に行われ、11人の議員が市政全般にわたり市の見解をただししました。その内容は次のとおりです。

(掲載は質問順)



<http://www.gijiroku.net/city.kashiba/>

一般質問 質問者・項目

堀川 和行

- 学校・家庭・地域連携による教育支援活動促進事業について
- 中和幹線完成後の計画道路の事業化及び改修計画について
- 香芝市の国民健康保険の医療費について

森井 常夫

- 市長の言う4年で変える！プロジェクトについて

中村 良路

- 地域自治区の創設について
- 市長の所信表明、「4年で変える！プロジェクト」5項目の公約について

下田 昭

- 節電対策について
- 7月、8月の閉庁について
- 市長所信表明について

池原 道生

- 今後の香芝市運営について

奥山 隆俊

- 市役所を変えるプロジェクト「市役所をサービス業として経営する」について
- 元気な香芝に変えるプロジェクト「住まっ街香芝に職場と雇用を創る」について
- 節電対策について

関 義秀

- 空き家・空き地対策について
- 中和幹線の開通に伴う問題点について

中山 武彦

- 防災・減災ニューディール政策の推進について
- 子ども、若者の支援について

河杉 博之

- 香芝市政の運営について

芦高 省五

- 市長の所信表明について
- 国民健康保険料について
- 原水爆禁止国民平和実行について

池田 英子

- 安心・安全な学校給食について
- 県外での登校時の事故後、登下校の安心・安全について
- 五位堂駅前北第二土地区画整理事業について

※詳細は、香芝市議会のホームページに掲載予定です。

堀川 和行 議員

▼学校・家庭・地域連携による教育支援活動促進事業について

(問) 学校支援地域本部事業について、3年間の総括と問題点は、どのように考えているのか。

(教育部長) 学校と地域が相互に支援する関係を組織化し、コーディネーターが双方のニーズを調整するしくみができた。問題点は、ボランティアが固定化していることである。

(問) 学校・家庭・地域連携の協力事業の現状と課題は、どのように考えているのか。

(教育部長) 保護者を中心に事業の認知度が高まってきたが、中学校での支援については、活動内容の固定化が課題となっている。

(問) コーディネーターの活動謝礼を、もう少し上げることができないのか。

(教育部長) 活動内容に対して、相応な額と考えている。

(問) 学校支援活動の内容については、どのように考えているのか。

(教育部長) 学校を支援するボランティア活動であり、先生を支援する補助的な役割であると認識している。

(問) 家庭の支援活動については、どのように実施をしていくのか。

(教育部長) 家庭教育学級を中心として、支援活動の輪を広げていきたい。

〔問〕 学生ボランティアの交通費については、どのように考えているのか。
〔教育部長〕 学生の負担を少なくするために、なるべく自宅から通える学校を紹介している。

〔問〕 登下校時の見守り活動については、どのような評価をしているのか。
〔教育部長〕 地域の皆さんによって、子どもたちが見守られていることに心から感謝している。

〔問〕 学校支援活動や放課後支援活動について、現段階でどのような評価をしているのか。

〔教育部長〕 これらの支援活動は事業開始から5年を迎えており、着実に広がりを見せている。

▼中和幹線完成後の計画道路の事業化及び改修計画について

〔問〕 国道165号線の拡幅工事については、いつ頃になるのか。

〔都市建設部次長〕 国の事業予算の動向や用地買収の進捗状況により、工事の着手時期が変わってくるが、今後、工事計画を立てられる予定である。



▲拡幅が予定されている国道165号線(穴虫)

〔問〕 市内の都市計画道路は、今後、見直しの計画はあるのか。

〔都市建設部次長〕 現在、都市計画道路見直し検討庁内会議で、検討をしている。

〔問〕 総合福祉センターの進入路は、歩道に多くの段差があり非常に危険だと思いが、改修はしないのか。

〔都市建設部次長〕 開発によって歩道が切り下げられたもので、できるだけ早く改修を進めたい。

▼香芝市の国民健康保険の医療費について

〔問〕 本市の入院医療費と外来医療費は、県下でどれぐらいの位置にあるのか。

〔保健福祉部次長〕 平成22年度の入院医療費は、1人当たり9万4629円で、県下39市町村の上から35番目である。また、外来医療費は、1人当たり11万237円で28番目となっている。

〔問〕 本市の医療費の現状を、どのように認識しているのか。

〔保健福祉部次長〕 特定健診の受診率は県内の市で一番高く、医療費は県平均よりも低いと認識している。

〔問〕 医療費を抑えるために、どのような対策を講じているのか。

〔保健福祉部次長〕 ジェネリック医薬品の利用促進や特定健康診査の受診を推進している。

森井 常夫 議員

▼市長の言う4年で変える！プロジェクトについて

〔問〕 市として、環境に配慮したエコ対策については、今までのように行ってきたのか。

〔市民生活部長〕 平成20年7月に香芝市環境基本計画を策定して、市の施設でCO2の削減対策に取り組んできた。

また、庁舎会議室棟に太陽光発電設備を設置して、庁舎の電力の一部を賄っている。さらに、廃食用油を回収し、バイオディーゼル燃料として、市の公用車の一部で使用している。

〔問〕 これまでも市全体で環境に配慮した取り組みを行っているが、市長の言われる「香芝市をエコファーストに変える」とは、どのようなことなのか。

〔市長〕 何事も環境を第一にとらえていくということであり、環境先進都市を目指して取り組んでいきたいと考えている。

〔問〕 市長の公約である「家庭の太陽光発電設備の助成」については、どのような考えのもとに、実施を検討しているのか。

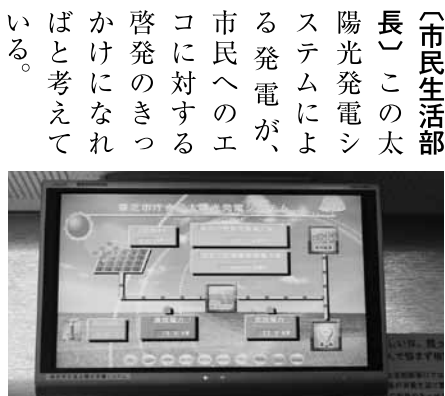
〔市長〕 家庭を中心に、太陽光発電設備の助成を優先的に進めていきたいと考えている。今後、助成件

数などの詳細についても検討をしたい。

〔問〕 今後の施策を進めるにあたっては、香芝市環境基本計画との整合性を図りながら、どのように実施していくのか。

〔市長〕 ごみの分別では13品目をさらに細分化したい。また、市内の防犯灯についても、今後、LED化を検討したい。

〔問〕 庁舎1階ロビーでは、太陽光発電システムによる発電量を表示しているが、市民に対してはどのような啓発になっているのか。



▲庁舎の太陽光発電システム表示板(1階ロビー)

〔市民生活部長〕 この太陽光発電システムによる発電が、市民へのエコに対する啓発のきっかけになればと考えている。

〔問〕 本市が抱える問題の一つに、農家の高齢化や後継者不足により、農地の維持管理が困難になっている現状がある。このような状況について、市はどのように考えているのか。

中村 良路 議員

〔都市建設部次長〕最近は、年々遊休農地や耕作放棄地が増加しているため、土地所有者への意向調査などを行っている。

今後、この調査結果を踏まえて、解消策を考えていきたい。

〔問〕遊休農地や耕作放棄地を利用して、太陽光発電設備を設置した場合の助成金や補助金については、どのように考えているのか。

〔都市建設部次長〕現在、国や県では遊休農地などを利用した太陽光発電設備への助成や補助は行っていない。今後、その動向も注視して研究していきたい。

〔問〕太陽光発電設備を設置した場合には、市民への支援策として、税の減免については配慮があるのか。

〔総務部長〕現在の税制度においては、税の減免は難しいと考えている。

〔問〕太陽光発電設備を設置する場合には、設備資金の利子補給については、どのように考えているのか。

〔副市長〕もう少し時間をいただいで検討をしたい。

〔問〕遊休農地や耕作放棄地を利用して、太陽光発電設備を設置した場合には、本市独自の補助金や減免制度をつくってほしいと思うが、市長はどのように考えているのか。

〔市長〕環境施策の助成については、今後、前向きに考えていきたい。

▼地域自治区の創設について

〔問〕地域自治区を、中学校の校区で分ける理由は何か。

〔市長〕本市は、4つの旧村からなり、中学校も4校となるのでこの提案を行った。

〔問〕自治会と地域自治区とは、どのように違うのか。

〔市長〕自治会は基本的に任意団体と認識しており、地域自治区は条例で制定するため、それぞれに機能と役割があると考えている。

〔問〕地域自治区の委員の選出方法と実施時期については、どのように考えているのか。

〔市長〕各地域の市民から委員を選んで、実施は2〜3年後を考えている。

〔問〕一つの地域自治区に、2千万円の予算要求をしていくとあるが、地域自治区協議会を創設するための費用については、いくらぐらいを予定しているのか。

〔市長〕地域自治区協議会については、ボランティアの提案をしており、創設費用は市の予算の一部を考えている。

▼市長の所信市政方針、「4年で変える！プロジェクト」5項目の公約について

〔問〕土地開発公社の負債、大量退職者の退職金、老朽化施設の更新費用は、いくら見込んでいるのか。

〔総務部長〕平成22年度の土地開発公社の負債は51億1千万円余りである。退職金の将来負担額は49億3千万円余りとなっている。

また、老朽化施設の更新費用は、292施設の試算で約440億円が必要である。

〔問〕市税のあり方については、具体的にどのように考えているのか。

〔市長〕市税という表現であるが、幅広い歳入が必要と考えている。

〔問〕民間感覚を取り入れた行政改革とは、どのようなことなのか。

〔市長〕IT化の推進を行って、今まで以上に市民サービスが必要と考えている。

〔問〕市政運営において業績不振となれば、市長はどのように身を切るのか。

〔市長〕今は業績を上げていくことしか考えていないので、そのときに改めて提示したい。

〔問〕地場産業の活性化は、どのように図っていくのか。また、新産業とは、どのようなものなのか。

〔市長〕活性化プラン、サポート体制、優遇措置、開発の4つの項目で進めていきたい。また、今までにない企業は新産業と考えている。

〔問〕誰もが住みよい香芝に変えるプロジェクトで、特に取り組みたいのはどのようなことなのか。

〔市長〕住宅リフォームの助成や有償ボランティアを考えている。

〔問〕保育時間の充実と費用については、どのように考えているのか。

〔市長〕現在の時間を1時間延長または前倒した場合、年間約800万円強が必要と考えている。

〔問〕中学校給食の実施方法は、どのように考えているのか。

〔市長〕7月末までに中学校給食検討委員会を立ち上げて、そのなかでセンター方式か親子方式かを判断していきたい。

〔問〕子ども課を新設する必要性と、その時期はいつごろなのか。

〔市長〕乳幼児から学齢期までの窓口を一本化したいと考えており、関係部門と調整を進めて早急に取り組みたい。

〔問〕若い世代が定住の地とするためのメニューとは、どのようなことなのか。

〔市長〕若いファミリー層に移り住んでもらえるように、優遇措置を考えていきたい。

〔問〕環境部を創設することについては、どのように考えているのか。

〔市長〕現在の業務内容を精査して、提案をしていきたい。

下田 昭 議員

▼節電対策について

〔問〕 今回の節電対策については、何を基準に取り組んでいるのか。

〔市長〕 市が率先して節電対策に取り組みることにより、市民全体を巻き込んで、この危機を共有できると考えている。

〔問〕 大飯原発の再稼働により、関西電力の節電目標が15%から10%に引き下げられたが、今回の節電対策は、大飯原発再稼働の要因を加味しているのか。

〔危機管理監〕 大飯原発の再稼働にかかわらず、公共施設全体として15%を目標に考えた。

〔問〕 今回の節電対策は、どれだけの効果があるのか。

〔危機管理監〕 決して節電効果は高いとは言えないが、市役所が中心となって一部閉庁をすることで、市民にも啓発ができ、家庭の節電につながると考えている。

▼7月、8月の閉庁について

〔問〕 一部閉庁は、市民に多大な影響を及ぼすと考えられるが、節電対策については、どのように決めたのか。

〔危機管理監〕 今年度は、昨年以上の節電対策が求められており、市民サービスに影響が出ない範囲で一部閉庁を決めた。

〔問〕 一部閉庁によって市民に与える影響については、どのように考えているのか。

〔危機管理監〕 庁舎1階など、市民に直接関係のある課については、閉庁日も勤務を予定している。

〔問〕 関西電力の節電に協力するのであれば、最も負担のかかる期間に、なぜ、閉庁しないのか。

〔副市長〕 大飯原発の再稼働がわからない状況で、節電対策の検討を行った結果、7月と8月に分けて一部閉庁を行うことにした。

〔問〕 国民の休日や土日、年末年始以外は、市民は公務を受ける権利があると思うが、その点はどうのように考えているのか。

〔市長〕 計画停電にならないことが、市民の権利を守るサービスであると判断をした。

〔問〕 閉庁時に問題が発生した場合、だれが責任をとるのか。

〔市長〕 市民の皆さんにご迷惑がからないように、最大限の努力をしたい。

〔問〕 一部閉庁についての報道は行っているが、なぜ、市民へ周知をしていないのか。

〔危機管理監〕 市のホームページには掲載しており、さらに7月5日発行の「お知らせ版」により、市民に周知する予定である。

〔問〕 緊急時のリスクコミュニケーションは、どのように構築をしているのか。

〔危機管理監〕 病院や介護施設には十分配慮するように、連絡体制を整える。

〔問〕 一部閉庁の施策を、市長はどのように考えているのか。

〔市長〕 タイムなスケジュールの中で節電を決定しており、停電が回避できるように努力したい。

〔問〕 「香芝市の職員の勤務時間、休暇等に関する条例」で、どの部分を適用して職員に特別休暇を与えるのか。

〔企画部長〕 同規則の中に夏期休暇の項目があり、緊急対応として職員に協力をお願いしている。

〔問〕 特別休暇を強制する法的根拠を、お聞きしたい。

〔市長〕 緊急性ということで判断し、職員には夏期休暇などで対応をお願いしている。

▼市長の所信表明について

〔問〕 本市の財政は極めて危機的な状況であると言われたが、具体的にどこが危機的な状況なのか。

〔市長〕 公債比率が22.6%で、危機的であると判断している。

また、470億円の公債費は、将来負担率も含めて約200%を超えており、厳しい状態と認識している。

池原 道生 議員

▼今後の香芝市運営について

〔問〕 市役所を変えるプロジェクトについて、市役所をサービス産業へ変えるために、今後、どのような施策を考えているのか。

〔市長〕 情報公開の徹底、市民参加、財政の健全化、市民の利便性、この4つの施策を考えている。

〔問〕 サービス産業へ変革するため、時間を活用したサービスが必要と考えるが、今後はどうに行うのか。

〔企画部長〕 現在、休日の出前講座をはじめ、市税などの休日コンビニ収納を行っている。今後も、さらに時間を活用した施策を展開していきたい。

〔問〕 市の施設で公共無線LANを導入すれば、効率的なサービスにつながると思うが、その点はどうのように考えているのか。

〔総務部長〕 市の施設での公共無線LANの整備は、今のところ考えていない。

〔問〕 元氣な香芝に変えるプロジェクトについて、職場と雇用を創出するが、スポーツ公園事業予定地を有効活用する考えはないのか。

〔都市建設部長〕 スポーツ公園事業は、運動公園として都市計画決定し、国庫補助金の交付を受けて用地

買取をしており、目的外の利用は困難である。

〔問〕新産業の育成について、米粉や香るみそなど、今までの取り組み商品も新産業として発展させるのか。

〔都市建設部次長〕今年度も市内の各店舗で、米粉などの新商品開発の募集を行い、拡充を図っていきたい。

〔問〕新産業として、本市に根づくための取り組みは、どのように考えているのか。

〔市長〕本市に新産業が根づくためには、優遇措置などの施策が必要であると考えている。

〔問〕農業での新産業育成については、どのように考えているのか。

〔都市建設部次長〕今後、水耕栽培などが本市に適しているのかを研究したい。

〔問〕子育てなら、かしばいに変えるプロジェクトについて、通学路の安全を高める施策は、どのように考えているのか。

〔教育部長〕通学路の安全確保は重要な課題であるため、早期に改善できるものから取り組んでいきたい。

〔問〕大和高田市の国道には「錯視」による道路表示があるが、本市は導入を検討しているのか。

〔都市建設部次長〕「錯視」の道路表示は、交互通行では反対方向の錯視効果は半減するため、通学路の安全

対策は状況確認をして検討したい。

〔問〕運動場の芝生化事業について、どのように考えているのか。

〔教育部長〕芝生化は、メリットもあるが維持管理などの課題もあり、現在は学校施設の耐震化工事を最優先に取り組んでいる。

〔問〕省エネ対策として、庁舎の屋上緑化は検討しているのか。

〔総務部長〕防水対策や排水対策、建物の耐震化問題もあり、現段階で屋上緑化は検討していない。

〔問〕スポーツ公園事業予定地に、エコ施設の設置は考えているのか。

〔都市建設部次長〕周辺の環境に配慮して、太陽光や雨水などを活用する施設を検討したい。

〔問〕美濃園の延命対策もしくは建て替えの問題について、現時点ではどのように考えているのか。

〔市民生活部長〕ごみ焼却施設は供用開始後30年が経過しており、現在、長寿命化計画を策定中であり、今年9月には策定できるので、その後評価を行いたい。



▲ごみ焼却施設の美濃園

奥山 隆俊 議員

▼市役所を変えるプロジェクト「市役所をサービス業として経営する」について

〔問〕やりがいをもって働ける環境づくりとは、どのような環境をつくることなのか。

〔企画部長〕組織目標の明確化による達成感の共有、育成による能力向上などを目指しており、的確な評価でやりがいの高揚に努めたい。

〔問〕やる気のある行政組織については、どのような考えで取り組んでいるのか。

〔市長〕職員とは、共有・連帯・創造について理解し合い、評価にあたってはプロセスに重点を置いて、表彰制度なども取り入れたい。

〔問〕共有・連帯・創造を育むために、具体的な考えはあるのか。

〔市長〕現在は現場を確認しながら仕事を進めており、今後は面談により問題点を把握し、現場と意識の乖離がないようにしたい。

〔問〕サービス業として意識改革を行うために、何か具体策はあるのか。

〔企画部長〕研修による職員のスキルアップが必要で、個々の意識改革を図りたい。

〔問〕具体的な研修制度については、どのような取り組みを考えているのか。

〔市長〕職員の層に応じて、企業などへの出向により、専門的なノウハウを身につけるような取り組みを考えている。



▲職員研修のようす

〔問〕市民目線に立った市政運営を推し進めるとあるが、具体的にはどのようなことか。

〔市長〕面談により直接対話をしたと考えており、市長室もオープンルームにしたい。

▼元氣な香芝に変えるプロジェクト「住まつ街香芝に職場と雇用を創る」について

〔問〕企業誘致を推進するために、クリアしなければならぬ課題は、どのようなことなのか。

〔都市整備部次長〕企業を誘致するための優遇制度の創設、企業への情報提供が課題と考えている。

〔問〕企業誘致を行う場合は、どのようにPRしていくのか。

〔市長〕本市が魅力的なまちであるということを、PRしていきたい。〔問〕企業誘致を推進するためには、職員に何を求めるのか。

関 義秀 議員

〔企画部長〕 熱意や情熱、また親切に対応できることを求めている。

〔問〕 企業誘致は、なぜ必要なのか。また、地元企業とはどのようなかわりをもつていくのか。

〔市長〕 新しい企業が来ることにより財政への貢献ができ、また、地元企業には事業の拡大を期待している。

〔問〕 県内の市町村では、どのような優遇制度があるのか。

〔総務部長〕 現在、8市12町村で奨励金や補助金などの優遇制度が設けられている。

〔問〕 県内トップレベルの優遇制度の創設については、どのようなものを考えているのか。

〔市長〕 固定資産税の優遇制度を中心に、市民を雇用した場合の助成などを考えている。

▼節電対策について

〔問〕 なぜ、4日間の一部閉庁と休憩時間を変更したのか。

〔危機管理監〕 市として、できる限りの節電を行うために一部閉庁とした。また、休憩時間は電力の逼迫時間帯をずらすために変更した。

〔問〕 具体的な節電の目標数値と実施効果は、どのように考えているのか。

〔危機管理監〕 公共施設全体で15%の節電を目標としており、市が一致団結することで、市民に一層の節電啓発になると考えている。

▼空き家・空き地対策について

〔問〕 市内には、現在どれぐらいの空き家があるのか。

〔危機管理監〕 空き家は増加傾向にあるが、件数は把握していない。

〔問〕 市として、空き家や廃屋はどのように考えているのか。

〔総務部長〕 固定資産税では、空き家・廃屋の区別はしていない。

〔問〕 危機管理の観点から、空き家の現状については、どのように認識しているのか。

〔危機管理監〕 旧村や昭和40年代に開発された住宅地に、空き家が多いと認識している。

〔問〕 荒廃・老朽家屋について、市民から防災面で相談があれば、どのような対策を講じているのか。

〔危機管理監〕 個人の財産であり、現状では家族や関係者などに個別に連絡をとるように努めている。

〔問〕 「空き家・老朽家屋の適正管理に関する条例」を、本市で制定する考えはあるのか。

〔総務部長〕 個人の財産権への介入という問題もあるので、慎重にならざるを得ない。

〔問〕 県外の他市では、空き家の深刻な問題も提起されているが、どのように考えているのか。

〔副市長〕 全国の取り組み事例を十分検討し、住民の安全という観点で考えていきたい。

〔問〕 空き家や空き地について、相続ができないときや所有者が特定できない場合は、どのように対応をしているのか。

〔総務部長〕 個々の事情を精査して、個別事象として対応している。

〔問〕 空き家・廃屋について、市長はどのように考えているのか。

〔市長〕 関係部門だけでなく、地域にも協力をいただいて解決する問題と認識している。

〔問〕 市民の安心・安全の観点から、空き地については、どのような指導や助言をしているのか。

〔市民生活部長〕 空き地の現況を調査し、所有者に対して適正に管理するように指導を行っている。

〔問〕 市街化調整区域内の既存宅地について、建物が建てられないことは、どのように考えているのか。

〔都市建設部長〕 現在は、既存宅地での新築などの建築行為はできないが、既存建築物の再活用基準においては、やむを得ない場合は再建築が可能である。

〔問〕 耕作放棄農地の校区別面積は、どのような状況なのか。

〔都市建設部長〕 耕作放棄農地は、五位堂校区が0・7畝、下田校区が

0・36畝、二上校区が2・47畝、志都美校区が3・19畝となっている。

▼中和幹線の開通に伴う問題点について

〔問〕 本線と既設道路の接続で、問題となっている場所はどこか。

〔都市建設部長〕 逢坂七丁目地内で、信号の設置要望がある場所と認識している。

〔問〕 騒音や振動の現状と、今後の対策はどのように行うのか。

〔都市建設部長〕 今年6月に騒音調査を行ったが、環境基準は下回っており、今後、基準を超えた場合は県と協議をする。

〔問〕 開通後の交通量について、変化はあったのか。

〔都市建設部長〕 香芝高校付近の12時間交通量は、平成22年5月が約1万3000台で、今年5月が約1万7500台である。

〔問〕 柏原インターまでの道路拡幅は、今後どのように取り組んでいくのか。

〔副市長〕 今後、国と市が一体となって、事業の推進を図る必要があると考えている。



▲全線開通により交通量が増加した中和幹線

中山 武彦 議員

▼防災・減災ニューディール政策の推進について

〔問〕道路、河川、橋梁、上下水道、学校、体育館、庁舎など、老朽化施設の現状は、どのようになっているのか。

〔都市建設部次長〕市道や河川は、随時、補修や改修をしており、橋梁については、橋梁長寿命化修繕計画を策定して取り組んでいる。

〔上下水道部次長〕上下水道施設は、固定資産台帳や公共下水道台帳に基づいて把握している。

〔教育部次長〕教育施設の建物は、築21年から30年が35%、築31年から40年が33%で、築41年以上が6%である。

〔総務部長〕庁舎などの施設は、今後50年間で約440億円の更新費用が必要と試算している。

〔問〕すべての施設を調査して公共施設白書を作成し、更新費用や方法を検討すべきではないのか。

〔総務部長〕公共施設白書にかわる



▲市役所庁舎(右)と総合体育館

ものとして、施設整備計画策定会議で、長寿命化整備などを検討し、施設の整備計画に生かしたい。

〔問〕管理責任を一元化する組織や技術者の確保については、どのように考えているのか。

〔企画部長〕現在は、部や課を超えて、技術者が応援する体制づくりを行っている。

〔問〕防災・減災ニューディール政策の推進については、どのように考えているのか。

〔市長〕長期的な計画を立てて、優先順位をつけて取り組みたい。

〔問〕民間の活用や提案型事業については、どのように考えているのか。

〔企画部次長〕市と民間の連携により、効率的に公共サービスを提供していきたい。また、公募型の提案事業も進めていきたい。

▼子ども、若者の支援について

〔問〕チャイルドファースト社会を構築するために、魅力ある教育や子育て支援については、どのように考えているのか。

〔教育長〕子どもたちにとって魅力的であり、親にとっても安心してできるような教育に取り組んでいる。

〔市長〕保育時間の延長も必要であり、ワンストップで解決する子ども課の設置を考えている。

〔問〕待機児童の解消、病後児保育、

一時保育については、どのような状況なのか。

〔保健福祉部次長〕待機児童については、保育所の新設や増設により定員を増やしている。

また、せいか保育園で病後児保育を行い、一時保育は市内の5カ所で実施している。

〔問〕保育所や小・中学校で、障がいのある子どもは、何人いるのか。

〔保健福祉部次長〕公立保育所では、23人の児童が在籍している。

〔教育部次長〕小・中学校では、特別支援学級に185人が在籍している。

〔問〕支援員や特別支援教員の充実については、どのように考えているのか。

〔保健福祉部次長〕人的配置の増員で、対応する必要があると考えている。

〔教育部次長〕幼稚園では副担任がきめ細かな支援を行い、子どもたちの社会性を育み、個々の発達につなげている。

〔問〕市内で不登校の児童などは、何人いるのか。

〔教育部次長〕小・中学校合わせて、平成23年度は77人となっている。

〔問〕子ども・若者育成支援措置法に基づいた組織づくりを、どのように考えているのか。

〔教育部次長〕教育や福祉など情報の共有を図り、ネットワークシステムの構築に努めたい。

河杉 博之 議員

▼香芝市政の運営について

〔問〕市長が公言されている地域自治区とは、どのようなものを構想しているのか。

〔市長〕公共のサービスは公共が担うという考えを改めて、住民が地域の課題を検討し、市民と市役所が一体となって市政を担うために、地域自治区が必要と考えている。

〔問〕地域自治区の名称を使うには、法的な事務手続が必要だと思いが、所信表明でこの名称が使われたのはなぜか。

〔市長〕住民が地域の課題を検討し、一定の予算を執行できるスキームを構築したいと考え、地域自治区の提案を行った。

〔問〕地方自治法の解釈について確認したいが、同法にある地域自治区という名称は、使ってもよいものなのか。

〔市民生活部次長〕地方自治法に規定する地域自治区の設置であれば、条例で区域を定めて名称をつけられると理解している。

〔問〕地方自治法という地域自治区と、市長が考える地域自治区とは少し違うように思うが、どのように考えているのか。

〔市長〕地方自治法に規定している

地域自治区の設置を、提案していきたい。

〔問〕自治会と地域自治区の関係は、どのように考えているのか。

〔市長〕自治会は、各種の協力をいただいている任意団体であり、地域自治区は条例で設置するため、役割が違うと認識している。

〔問〕地域の活性化ということでは、自治会に協力してもらえばよいと考ええるが、あえて地域自治区を設置するのはなぜか。

〔市長〕地域自治区で地域の課題を話し合い、一定の予算を配分したなかで、市民と市役所が共に市政を行うため、役割は違うと考えている。

〔問〕地域の特性を生かした活性化は、どのように考えているのか。

〔市長〕今後、研究会や委員会を立ち上げて検討したい。

〔問〕新しい公共とは、どのようなものなのか。

〔市長〕共助を主として、地域のごとは地域で決めて自立していくことだと認識している。

〔問〕市民の満足度を向上させるために、今後、どのような施策を考えているのか。

〔市長〕情報公開の徹底、市民参加、財政の健全化、市民の利便性の4つの施策で、さらなる満足度の向上を目指したい。

〔問〕市民サービスの原点については、どのように考えているのか。

〔市長〕市民に、「香芝に住んでよかった」「香芝にずっといたい」と思ってもらうことだと考えている。

〔問〕市民サービスを行うために、指針となるものはあるのか。

〔市長〕「出を制して入を促進する」ための財政改革を、優先して進めていきたい。

〔問〕市民議会とは、どのようなものと考えているのか。

〔市長〕本市の重要事項の決定に際し、市民の意見を幅広く活かすための組織を考えている。

〔問〕企業誘致と企業立地については、どのような考えで使い分けをしているのか。

〔市長〕企業立地の中に、企業誘致や企業の活性化が含まれていると考えている。

〔問〕企業誘致については、どのように考えているのか。

〔市長〕成長戦略に転換することで、法人住民税が伸びると判断しており、企業立地が経済発展につながると考えている。

〔問〕市長の政策を実行するための財源は、確保できているのか。

〔総務部長〕今後、中期財政計画に基づく収支の試算により、収支不足にならないよう予算編成を行いたい。

芦高 省五 議員

◆市長の所信表明について

〔問〕地域自治区については、市民・自治会・市民活動団体・各種団体・企業などが、地域の活性化や地域コミュニティのための事業を、地域で決める仕組みを構築することであるが、具体的にはどのようなことを考えているのか。

〔市長〕公共のことはすべて公共でするのはなく、市民が主体となって行政の一端を担い、地域がより自立して、共助を主とした市政に変えていきたいと考えている。

そのために、地方自治法による地域自治区の設置を提案したい。

〔問〕地域で活動している自治会に対して、今後も補助や援助をしていくという考えはあるのか。

〔市長〕各自治会については、様々な課題もあると思うので、今後も検討したい。

〔問〕自治会活動には費用がかかるので、自治会の人口に比例するような形で、補助金や援助金を出してもらいたいと思うが、この点についてはどのように考えているのか。

〔市長〕補助金のバランスも含めて、不公平がないように精査したい。

◆国民健康保険料について

〔問〕国保財政の単年度の決算につ

いては、黒字で間違いはないのか。

〔保健福祉部次長〕平成20年度から22年度の3年間については、黒字決算である。なお、平成23年度は現在、調整中である。

〔問〕国保財政については、過去3年間に黒字決算という状況であれば、累積赤字もかなり減ってきていると思うので、年々高くなっていく保険料を引き下げる考えはないのか。

〔保健福祉部次長〕国民健康保険は、高齢者や低所得者層の加入者が多いので、現在も非常に厳しい財政状況が続いている。

また、最近では医療費も増加しており、保険料を引き下げることが難しい。

〔問〕現在、国民健康保険に加入している世帯数と加入者数は、どれくらいあるのか。

〔保健福祉部次長〕平成23年度の平均で約9500世帯となり、加入者数は約18000人である。

〔問〕再度確認するが、いくらでも保険料を引き下げることができないのか。

〔保健福祉部次長〕国保財政については、健全な運営が確立できた状況であれば、保険料についても検討が可能であると考えている。

〔問〕国民健康保険の問題について、市長はどのように考えているのか。

が見えてきたと思うが、今後も努力していきたい。

▼原水爆禁止国民平和大行進について

〔問〕 過日、庁舎の玄関前において、原水爆禁止国民平和大行進奈良県実行委員会より、要請書が手渡されたが、今年の平和行動は、どのような計画をしているのか。

〔企画部次長〕

8月3日から17日まで、ふたかみ文化センターと市民図書館で、原爆写真展を開催する予定である。



▲原水爆禁止と国民平和を要請

〔問〕 市役所の庁舎で、平和行動を行う計画はないのか。

〔企画部次長〕 現在は、より多くの市民が集まる場所として、ふたかみ文化センターで開催をしている状況である。

〔問〕 平和行動の写真展などについて、市長はどのように考えているのか。

〔市長〕 本市は、非核平和都市として宣言しており、今後も恒久平和のための取り組みを行いたい。

池田 英子 議員

▼安心・安全な学校給食について

〔問〕 本市では、食育推進基本計画は策定しているのか。

〔保健福祉部次長〕 現在、食育推進基本計画を策定中であり、7月中旬に完成する予定である。

〔問〕 現在策定しているのは第2次計画であるが、第1次計画は策定されていないのか。

〔保健福祉部次長〕 第1次食育推進基本計画は、平成19年度の「健康かしら21」のなかで策定している。

〔問〕 学校給食の食育推進基本計画の策定については、どのように考えているのか。

〔教育部次長〕 現在策定中の食育推進基本計画を踏まえ、学校給食を通じて食育の推進を図りたい。

〔問〕 給食の放射能検査については、どのように行っているのか。

〔教育部次長〕 放射能検査の結果がわかる食材を積極的に使用し、安全な食材の確保に努めている。

〔問〕 学校給食の民間委託について、市と委託業者との連携はどのように図っているのか。

〔教育部次長〕 調理方法や衛生管理についての共通理解を図るため、月1回、献立説明会議を行っている。

〔問〕 調理業務で不測の事態が起こった場合は、どのように対応をするのか。

〔教育部次長〕 緊急時には、委託業者から教育委員会や学校へ連絡が入るようになってきている。

〔問〕 学校給食に対する保護者の評価は、どのような形で委託業者に届いているのか。

〔教育部次長〕 学校給食会理事会で意見をいただき、各学校において、PTA代表者、委託業者、学校、教育委員会で見直しを行っている。

〔問〕 中学校給食については、どのように考えているのか。

〔教育部次長〕 今後、検討委員会を立ち上げて、初期費用やランニングコスト、実施方式などを協議する予定である。

▼県外での登校時の事故後、登下校の安心・安全について

〔問〕 県外での交通事故後、学校での対応や対策については、どのように検討をしたのか。

〔教育部次長〕 児童や生徒には、命の大切さや交通安全意識の高揚に取り組んでいる。また、教職員、PTA、地域の方々との連携を図り、登下校時の見守り活動を強化している。

〔問〕 警察とは、どのような連携を図っているのか。

〔教育部次長〕 登下校時のパトロールや立哨指導を依頼している。

▼五位堂駅前北第二土地区画整理事業について

〔問〕 当初計画の進捗状況は、どのようになっているのか。

〔都市建設部次長〕

平成13年2月に事業計画を決定し、15年5月に仮換地を指定して、現在は事業期間を9年間延伸している。今年3月で、進捗率は約76%である。



▲工事が進む区画整理事業地内

〔問〕 事業期間を9年間延伸したこと、事業費は増加していないのか。

〔都市建設部次長〕 当初の事業費は約53億円で、現在は52億4千万円に下方修正をしている。延伸については、埋蔵文化財の発掘調査や新葛下川の改修事業の遅れである。

〔問〕 今後は、どのような計画になっているのか。

〔都市建設部次長〕 平成25年度は国道との接続工事、平成26年度に換地処分を行い事業を完了する予定である。

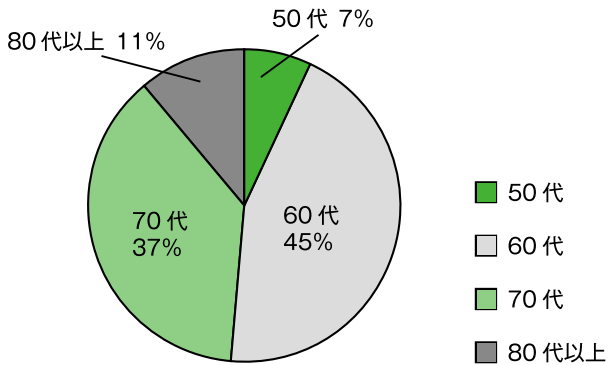
〔問〕 下田東の旧葛下川については、今後は、どのようにするのか。

〔都市建設部次長〕 県が埋め立てをし、歩道整備を行う予定である。

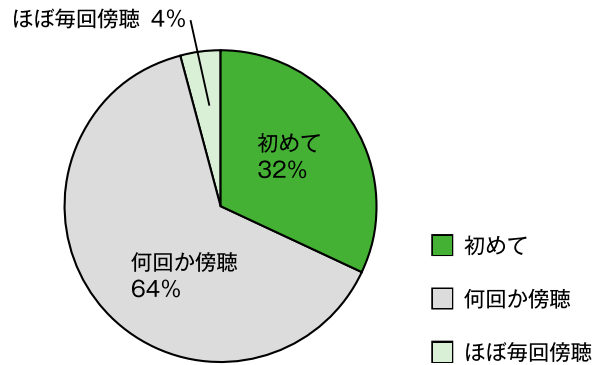
傍聴者アンケート集計表

※下記のアンケート結果は、平成23年9月議会から平成24年6月議会の間、傍聴者より回答のあった延べ27人の調査結果です。

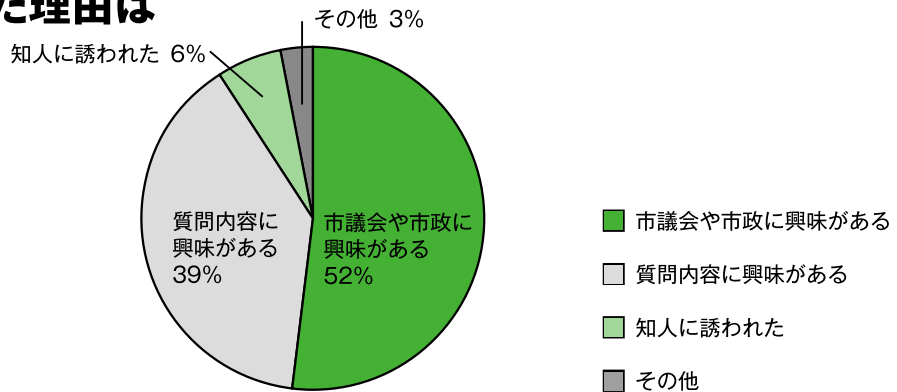
年齢



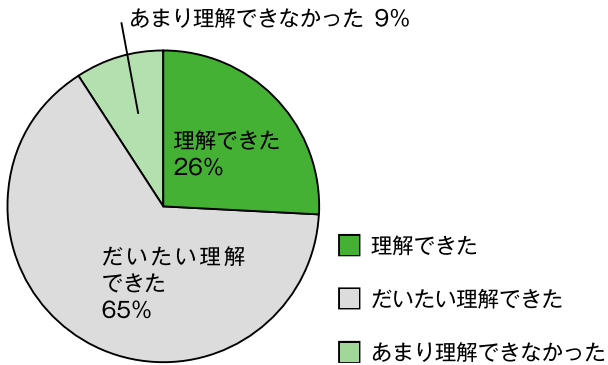
傍聴は何回目ですか



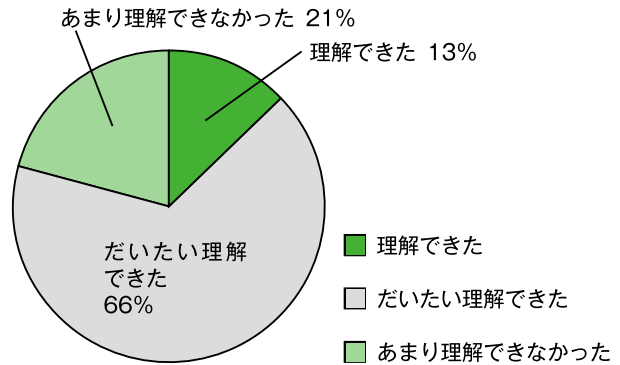
傍聴にこられた理由は



議員の発言内容について



市の答弁内容について



- 議会条例をつくるべきである。
- 質問される議員、答弁される理事者とともに、もう少し明確に具体的な発言をしてほしい。
- もっと傍聴者が増える工夫をしてほしい。
- 傍聴席が暑かった。
- どの議員も地域の声にもとづく質問が出来ていない。
- 香芝市をどのように発展させるのか、質問を期待している。
- 傍聴席のある6階まで、エレベーターにしてほしい。
- 9時から開会なのに、30分も遅れて開会されるのはおかしい。
- 今一歩、前向きな議論がほしい。
- 答弁の人の声が小さい。
- 質問と答弁が少し合っていない。
- 生活に密着した問題が多くあるので、個人の気づいた声が、市政に届くように改善してほしい。
- 傍聴者には議事資料がないので、内容がわからない。
- 予算・決算は、事前に市民向けに、説明会を開くべきではないか。
- パネルを使用するなど、視覚的にわかりやすくする努力が必要。
- 自分が所属していない委員会に傍聴に來ない議員が、最終本会議で採決できるのか。

傍聴者の声

平成24年9月定例会会期(予定)

月	日(曜日)	会議名
9	10日(月)	本 会 議
	12日(水)	総 務 財 政 委 員 会
	13日(木)	民 生 文 教 委 員 会
	14日(金)	建 設 水 道 委 員 会
	18日(火)~20日(木)	決 算 特 別 委 員 会
	25日(火)~26日(水)	一 般 質 問
	28日(金)	本 会 議

※上記の会期については、議会運営上、日程を変更する場合がありますので、傍聴を希望される方は議会事務局にご確認ください。

香芝市議会情報のご案内

本会議や常任委員会、議会運営委員会などの会議録の検索、議案の議決結果、議員紹介、議会改革のあゆみ、傍聴の手続きなど、香芝市議会の情報を幅広くご覧いただけます。

香芝市議会ホームページ <http://www.city.kashiba.lg.jp/shigikai/>

全国市議会議長会より表彰を受けられました。



芦高省五議員



北川重信議員

平成24年5月23日に開催されました全国市議会議長会総会において、芦高省五議員並びに北川重信議員が、市議会議員として15年以上市政の発展に尽くされた功績に対して表彰を受けられ、6月定例会において伝達式が行われました。

平成24年

議 会 日 誌

- 8月
 - 28日 議会運営委員会、議会だより編集委員会
 - 22日 奈良県市議会議長会議員研修会
 - 6日 奈良県市議会議長会
 - 30日 奈良県市議会議長会局長会
 - 25日 愛知県幸田町総務委員会視察のため来庁視察内容「安全・安心なまちづくり」について
 - 24日 大分県日出町産業建設委員会視察のため来庁視察内容「災害時等の各種応援協定等の締結状況及び経緯」について
 - 19日 近畿市議会議長会理事會
 - 13日 香芝・広陵消防組合臨時会
 - 9日 本会議
- 7月
 - 4~5日 一般質問
 - 29日 建設水道委員会
 - 27日 総務財政委員会
 - 25日 本会議
 - 14日 議会運営委員会
 - 4日 吉田市長就任式
 - 1日 梅田市長・山田副市長退任式
- 6月
 - 23日 全国市議会議長会総会
 - 24日 臨時議会
- 5月
 - 23日 全国市議会議長会総会



▲幸田町議会視察のようす

編 集 後 記

暑さ寒さも彼岸までと申しますが、9月に入り朝夕は涼しくなり、いくぶんか過ごしやすくなりました。

市内の水田では稲穂も出そろい、少しづつ秋の気配が感じられますが、これからは特に台風に伴う豪雨が気になるところです。

最近では、狭い地域で局地的な集中豪雨が頻発し、先月の14日未明には大阪府や京都府などで大きな被害が出ました。

被害にあわれた皆様には、心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

皆さんも、家庭では家族と十分に話し合いながら、防災対策を整えておいて下さい。

また、今月は定例会を開催しますので、多くの皆さんの傍聴をお待ちしています。

議会だより編集委員会



- 委員長 関 義秀
- 副委員長 河杉博之
- 委員 北川重信
- 森井常夫
- 堀川和行
- 池田英子
- 池原道生